

坂ノ市地域包括支援センター通信

平成31年1・2月号 発行 坂ノ市地域包括支援センター TEL592-6686

2019年が良い年でありますように



日本文理大学から見た坂ノ市

認知症になっても安心して過ごせるまちづくり

認知症とは、脳の老化により記憶や思考などの認知機能の低下が起こり、日常生活に支障をきたしている状態をいいます。その発症率は20%とも言われ、約5人に1人が認知症を発症すると言われています。

認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる社会づくりが必要です。坂ノ市地域包括支援センターでは「認知症サポーター養成講座」等を通じて、地域の皆さんに認知症や認知症予防についての普及・啓発活動をおこなっています。皆さんもぜひ、「認知症サポーター」になって、安心の輪を広げるお手伝いをお願いします。



平成27年度より毎年開催している日本文理大学での「認知症サポーター養成講座」の様子です。その他、老人サロンや銀行等にも出向いて講座をおこなっています。

<予告>

平成31年3月4日(月)午後

「地域でささえる認知症」イベント開催！！

わかば台クリニック 山内 勇人医師による講演会
その他イベントを企画中！！

詳細が決まり次第、広報しますのでお楽しみに♪



「認知症サポーター養成講座」



を受けてみませんか？

坂ノ市地域包括支援センターでは、認知症の方やそのご家族が、住み慣れた坂ノ市の地域で安心して暮らしていただけるよう、認知症を正しく理解し、一助になって認知症の方を支えていただける「認知症サポーター」の養成を随時おこなっております。

認知症サポーターって？

養成講座で認知症について学び、正しい知識を持って、認知症の力やそのご家族を温かく見守り、支える人のことをいいます。

だれが受けられるの？

どなたでも(会社、自治会、サロン、学校、サークル、ママ会など)。原則5名以上集まれば受講できます。

どんなことをするの？

時間は60分～90分、認知症に関する理解と向きにできることについて、講義やビデオなどで学びます。

費用はいくらわかるの？

受講料は無料です。

全終了時には、認知症サポーターの証となる「オレンジリング」を交付します。積極的に学習していただくために「フォローアップ研修」も開催します。

坂ノ市地域包括支援センター
電話 097-592-6686
担当 野口

まずはお気軽にお問い合わせください。



大分市高齢者運転免許



自主返納促進事業を知っていますか？

自らの運転に不安を感じる高齢者に、運転免許の自主的な返納を促し、自家用車から公共交通機関による移動に切り替えるきっかけづくりをおこない、高齢者が加害者となる交通事故防止と公共交通機関の利用促進を図るために実施されています。

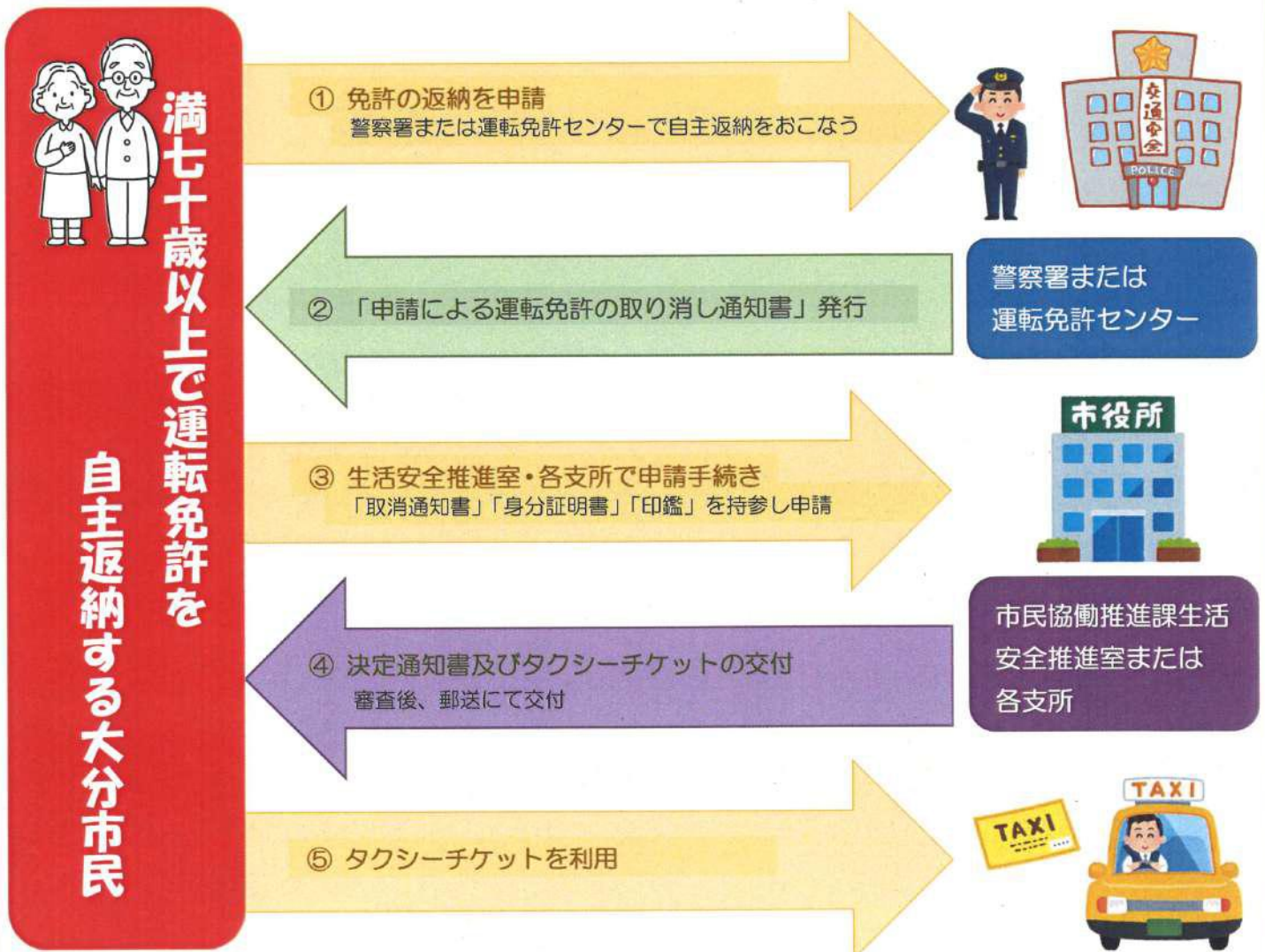
<事業の内容>

満 70 歳以上で運転免許を自主返納した方にタクシーチケット 1 万円分を交付します。

<事業の内容>

- 運転免許を自主返納した方
- 運転免許の返納時に 70 歳以上の方
- 大分市に住民登録している方（運転免許の返納時および本事業の申請時）

タクシーチケット交付までの流れ



<お問い合わせ> 大分市市民協働推進課生活安全推進室 ☎097-537-5997